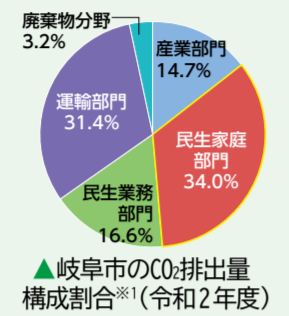


6月は「環境月間」 6月5日は「環境の日」

環境にやさしい生活に取り組みましょう

★脱炭素の取り組み～ゼロカーボンシティを目指して～
岐阜市のCO₂(二酸化炭素)排出量は約1/3を民生家庭部門(家庭生活での排出)が占めています。2050年までにCO₂排出実質ゼロを目指す**ゼロカーボンシティ**の実現に向けて、**家庭での省エネや再生可能エネルギーの利用**に取り組ましましょう。岐阜市脱炭素ポータルサイトでは、岐阜市の脱炭素に関する補助金などの情報やイベントなどを掲載しています。

◎脱炭素化に向けた啓発動画「2050岐阜市をゼロカーボンシティに」を公開しています。詳細は、市ホームページ(HP 1025010)に掲載。



再配達を減らしましょう

宅配便の再配達を減らすことは、トラックから排出されるCO₂の削減につながる地球にやさしい取り組みです。宅配便を利用する際には、再配達をなくすため、次のことを意識しましょう。

- 配達時間帯指定の活用(ゆとりある日時指定)
- 各事業者が提供しているコミュニケーション・ツール(メール、アプリなど)の活用
- コンビニや駅の宅配ロッカーでの受け取り、置き配など、多様な受取方法の活用
- 発送時に送付先の在宅時間を確認

再生可能エネルギーのご活用を

再生可能エネルギー設備の設置費用の一部を補助しています。

- 家庭用太陽光発電設備 ●家庭用蓄電池

◎詳細は、市ホームページ(HP 1025361)に掲載。
☎脱炭素社会推進課☎214-2149

ぎふ減CO₂(げんこつ)ポイント制度にご参加を

電気・ガス・水道の使用量削減など、省エネに取り組むことでポイントが貯まり、貯まったポイントで「もって省エネ啓発品」が当たる抽選に応募できる岐阜市独自の制度です。

☎岐阜市地球温暖化対策推進委員会☎214-2149 ↑詳細はこちら

※1:表示されていない小数点以下の数値処理により、合計は100%になりません。

★ごみ減量の取り組み
岐阜市のごみ焼却量は、平成9年度の15.6万トンピークとして、令和4年度は11.4万トンまで減少しました。そして、令和7年度までに**10万トン以下**を目指しています。ごみの減量にご協力ください。

プラスチック製容器包装の分別収集にご協力を

プラスチック製容器包装には、分類の目印としてプラマークが付いています。弁当箱などの汚れのついたものは、洗ったり、拭き取ったりするなどして出してください。収集したプラスチック製容器包装は、再商品化工場へ引き渡し、運搬用パレットなどにリサイクルされています。☎環境一課☎214-2831



雑がみは資源分別回収へ

地域の自治会連合会などが実施する資源分別回収などで雑がみを集めています。紙袋などに付けて利用する雑がみ回収の台紙(資源分別回収実施カレンダーに掲載)をご活用ください。
☎資源循環課☎214-2179



家庭の生ごみなどを堆肥に!

●ダンボールコンポスト講座
生ごみを基材が入ったダンボール箱に入れ、堆肥化する方法を紹介します。
◆日時 6月25日(火)午後1時30分～3時
◆場所 北東部コミュニティセンター(福富迎田6-1) ◆定員 30人

●堆肥講座
落ち葉・枯れ葉などを容器に入れ、堆肥化する方法を紹介します。
◆日時 6月27日(木)午後1時30分～3時
◆場所 中央青少年会館(明德町11) ◆定員 10人

【共通】◆受講料 無料 ◆申込・☎ 6月8日(土)～各開催日の2日前に市ホームページの申込フォームまたは開庁日時に電話で資源循環課☎214-2179へ。先着順。 ☎1002318

★自然について学ぶ

岐阜市に生育・生息する希少な生き物や外来種などについて話を聞き、豊かな自然とのふれあい方について学ぶ出前講座を行っています。お気軽にお問い合わせください。また、「岐阜市版レッドデータブック・ブルーデータブック2023」では、市内の絶滅が危惧される生物や人為的影響で侵入した生物を紹介しています。
◎詳細は、市ホームページ(HP 1019540)に掲載。
☎環境保全課☎214-2151



岐阜連携都市圏を知ろう! ⑳ 笠松町 菊池亜希子さんと周遊マップ「ふらっと笠松」を作りました

女優・モデルの菊池亜希子さんが笠松町を巡り、見つけた魅力が一冊の周遊マップになりました。競馬場やお菓子屋さん、公園を菊池さん直筆のゆるっと可愛いイラストとともに紹介し、マップを片手に同じ散歩道をたどることができるようになっています。

◆配布場所 笠松町内公共施設など(郵送可)



◎笠松町公式YouTube(YouTube)チャンネルで、菊池さんのまち巡りの模様を収めた動画も配信中です。

まち巡りの様子はこちら▲ (笠松町公式YouTubeチャンネル) ▲菊池亜希子のふらっと笠松

☎笠松町役場企画課未来創造室/TEL 388-1127



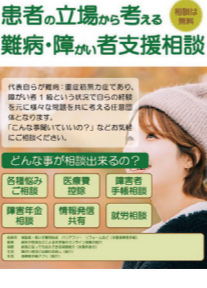
認知症サポーター養成講座

認知症の基礎知識や認知症の人への接し方などを学びます。
◆日時・場所・定員 7月16日(火)、9月19日(木)、10月8日(火)、12月5日(木)＝市庁舎6-1大会議室/各100人程度、来年1月9日(木)＝市庁舎6-3会議室/50人程度 ※時間はいずれも午後1時30分～3時
◆対象者 市内在住の高校生以上の人
◆申込・☎ 6月10日(月)～各開催日の5日前に市ホームページの申込フォームまたは電話で高齢福祉課☎214-2090へ。先着順。 ☎1004589



協働時代 当事者だからできること

生命の宿木は、難病のある人や障がいのある人に対する支援相談を主に行い、令和5年から孤独・孤立支援プラットフォーム事業に携わっています。家族にも言えない悩みを一人で背負い込むことがないよう、当事者の立場で相談を受けたりサポートを行ったりしています。お気軽にお問い合わせください。
☎生命の宿木・塩谷☎090-7619-1261、市民活動交流センター☎264-0011



ホットトピック

市では、特に重点を置いて取り組む政策の方向性として「こどもファースト」、「経済活性化」、「岐阜を動かす社会基盤整備」、「幸せで豊かな市民生活」、「持続可能な社会づくり」を令和6年度の政策バクトルとして掲げています。この政策バクトルを着実に深化させ、事業に取り組んでいきます。今号では、「幸せで豊かな市民生活」について紹介します。
※次号では、「持続可能な社会づくり」について紹介します。 ☎広報広聴課☎214-2387

令和6年度 主な事業 vol. 04

こどもファースト 経済活性化 岐阜を動かす社会基盤整備 **幸せで豊かな市民生活** 持続可能な社会づくり

市民生活を取り巻く現状

健康寿命*の延伸で健やかに長生き

平均寿命と健康寿命の差(岐阜県)

性別	平均寿命	健康寿命	差
男性	81.9	73.1	約8.8年
女性	87.5	76.2	約11.3年

※健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

出所:厚生労働省 令和2年都道府県別生命表の概況 厚生労働省 健康寿命の令和元年度について

運動で充実を実感

日常生活における充実感について、充実感を「十分感じる」「まあ感じる」と回答した人の割合

この1年間に運動・スポーツを行った	75.5%
この1年間に運動・スポーツはしなかったまたはわからない	51.0%

充実している

出所:スポーツ庁 令和5年度スポーツの実施状況に関する世論調査

生涯学習で幸福度向上

市民の幸福度(10点満点中)

生涯学習に取り組んでいる	7.4
生涯学習に取り組んでいない	6.4

幸福度が高い

出所:市民意識調査(令和5年度)

多機関との連携で分野横断的な支援

8050問題 セルフネグレクト(自己放任) 虐待 老老介護 生活困窮 社会的孤立 ひきこもり

支援ニーズの多様化 制度のはざま 複雑化・複合化

主な事業概要

市民の健康と生きがいづくり

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

◆国保データベースシステムを活用し健康課題を分析

分析 糖尿病の有病率が高い(後期高齢者)

千人あたりの糖尿病患者数(R4)※1	岐阜市	岐阜県	国
	約383人	約357人	約322人

◆ハイリスクアプローチ
・糖尿病治療中断者や健診未受診者などの支援対象者を抽出し保健師などによる個別支援を実施

分析 要介護認定率が高い(後期高齢者)

要介護認定率(R4)※1	岐阜市	岐阜県	国
	21.9%	18.1%	19.4%

◆ポピュレーションアプローチ
・集いの場へ医療専門職が出向き、健康教育や健康チェックを行いフレイル(虚弱状態)予防を実施

※1分析はすべて国保データベースによる

クアオルト®健康ウォーキング

◆ドイツのクアオルト(健康保養地)で行われている運動療法を基にした健康づくりのためのウォーキング

●4つの認定コースで講座を開催
・実践指導者と、心拍数や血圧を測定して歩く定期講座を毎週開催(原則7・8月除く)

●子育て世帯向け講座の新規開催
・子育て世帯が親子で参加できるウォーキングを秋頃に開催

「清流の国ぎふ」文化祭2024

(10月14日(月・祝)～11月24日(日))

- 開催に向けた機運の醸成
- ガイドブック作成やメディアを活用した広報宣伝
- 清流文化地域推し活動「チーオン」※4を推進 ▲ロゴマーク
- 市実行委員会主催事業の実施
- 文化芸術団体、障がい者関係団体などと連携し、演劇などの祭典や展覧会、演奏会など全29事業を実施

※4 県内各市町村がふるさとの文化として誇れる「推し」を選び、それをモチーフとした灯籠型のオブジェを制作し開会式で披露

一人ひとりの困りごとに寄り添う

総合的な支援体制構築事業

◆重層的支援推進室
・8050問題などの多様な困りごとを受け止め、介護、障がい、子ども・子育て、生活困窮などの分野横断的な支援につなげるネットワークを形成

・福祉まるごと支援員を5人配置し、複数の分野にまたがる困難な課題を解きほぐし、地域包括支援センターなどの支援機関の役割分担を調整した上で、適切な支援につなげる

☎重層的支援推進室☎214-2797

ひきこもり支援事業

◆ひきこもり相談室
・保健師・精神保健福祉相談員が電話、面談、メール、訪問による相談や、コミュニティセンターなどでの出前相談を行い、寄り添った支援を実施

ご本人はもちろん、ご家族などお悩みを抱える人のご相談をお待ちしています。

☎ひきこもり相談室(市庁舎10階)☎214-3703
〈平日午前8時45分～午後5時30分〉
✉hikikomori-soudan@city.gifu.gifu.jp